

近未来の 無人機



004 **LRRP**
Charlie Rangers Part II
チャーリーレンジャーズ パートII by Jay Borman
いつでも どこでも 誰とでも

014 第13回 **サイゴン物語** Saigon Memories
思い出のアルバム ベトナム紀行

特集!

036 **JOHN WICK**
PARABELLUM
ジョン・ウィック:パラベラム
チャド・スタエルスキ監督インタビュー

038 **SCOOP!!** “シャークシューター”こと
鮫島宗貴がタラン・バトラーを緊急取材!

043 **月刊 THE グリーンベレー**
GREEN BERET
GUYANA 2012 •文と写真/DJちゅう

ニッポンのカゴぶ
048 **総火演2019** 令和元年度
富士総合火力演習
Fuji Firepower Exercise ●写真と文/菊池雅之

052 Militaria Roundup!
陸軍航空隊の航空被服と装備 Part3

058 **NEW GENERATION STYLER**
the final episode ROGUE OPERATOR by fujiwara

066 **東京マルイ**
次世代電動ガンMk.46 Mod.0
WESTERN ARMS [世田谷ベース・モデル第7弾]
074 **SETAGAYA FIELD ARMORY**
TARGET MASTER

082 **トイガンニュース**
●タナカ コルト・パイソン.357マグナム 3インチ
“R-モデル”《スチール・フィニッシュ》
●タナカ ルガーP08
4インチHW《1918エルフルト・バージョン》
●WA ホルスター・セット&ガンケース

シン・サバゲ三等兵

086 **エアコッキング・パラベラム!!**
~汝、平和を欲するならばエアコキを備えよ~

サバゲ三等兵APS部

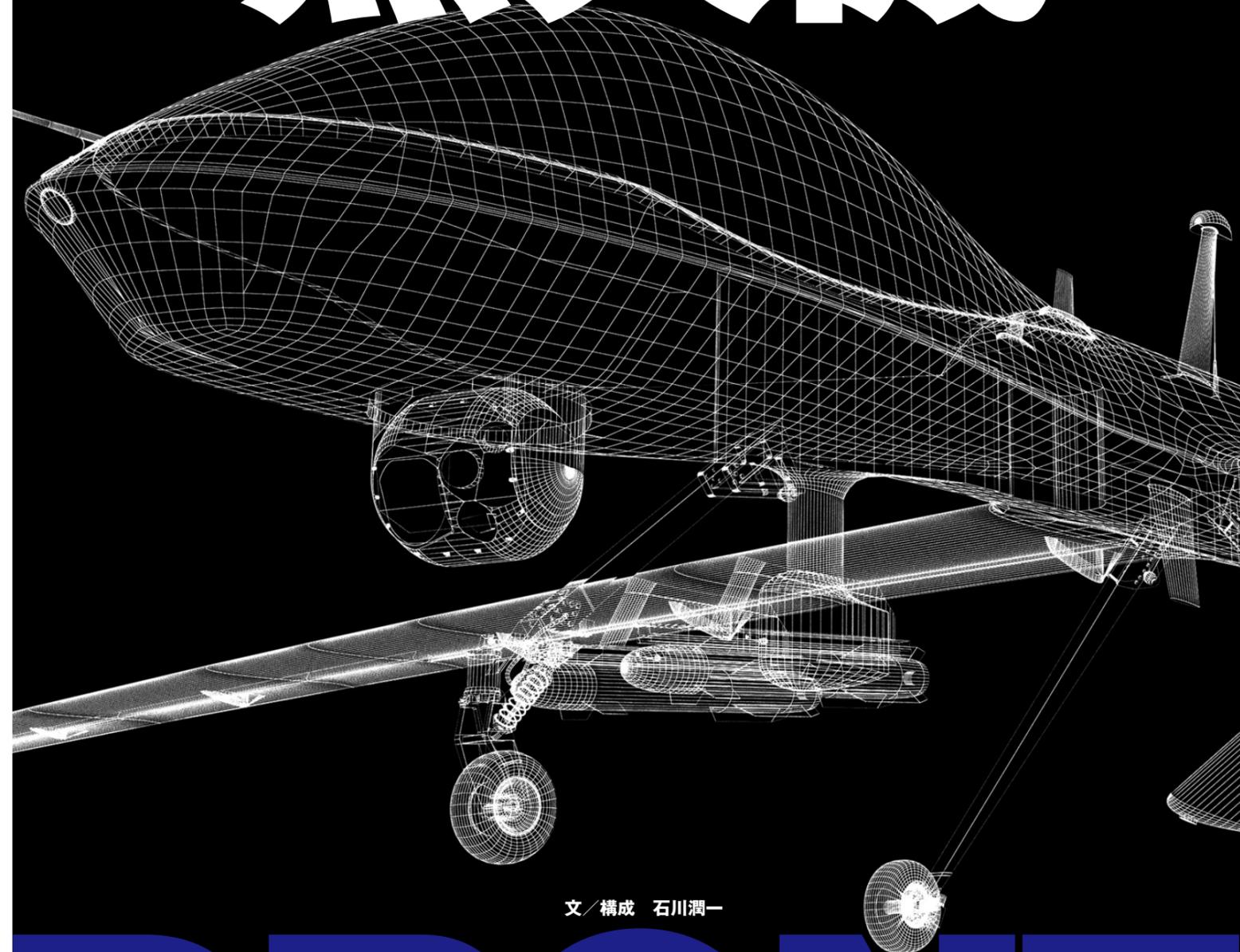
090 **第29回APSカップ本大会**
サバ三APS部猛省記

COMBAT FRONT LINE

- 033 秋の新作映画 CM的3本はコレ! by 狩野健一郎
- 034 G&G WORLD CUP CQB SHOOTING COMPETITION 2019
- 092 新製品てんこ盛り! COMBAT mono
- 096 ツゲチヨリ☆ びっちょ流、総火演の楽しみ方をご紹介
- 097 兵装嗜癖
- 098 コラム ベトナムを遠く離れて——。文/小倉 徹
- 099 レアミリタリーテクノロジー
- 100 ゲームOTT『ゴーストリコン ブレイクポイント』
- 101 USシューティングライフ
- 108 PRESENT
- 109 CIC
- 110 バックナンバー
- 111 奥付&次号予告

無人機とロボット三原則

近未来の 無人機



文／構成 石川潤一

映画などでよく見かけるプレデターやリーパーなどの無人偵察機兼攻撃機の始まりがイスラエルの技術者だと言ったら、驚かれる方も多いただろう。周囲をアラブ諸国に囲まれ人口の少ないイスラエルにとって重要なのは優秀な戦闘員の確保と維持で、危険な偵察任務を無人化することで人的被害を抑えられる。これがさらに進むと最終的にはAI(電子頭脳)がすべてを仕切るロボット兵器となっていくかもしれない。それを抑制するのが、70年も前にSF作家が提唱した「ロボット三原則」というのも皮肉なものだ。しかし、AIやネットワークと無人機は切っても切れない関係で、人間がこれをどう操っていくのが、未来の無人機の課題となる。



無人機とロボット三原則 近未来の 無人機 DRONE

近未来無人機に求められるもの 最初のトレンドはAI—人工知能

無人機と聞いて最初に思い浮かべるのは4枚のローター（プロペラ）を上向きに付けたクワッドロータードローンや、アフガニスタンやイラクの上空を飛行、地上を監視して必要とあればヘルファイア対戦車ミサイルでターゲットを攻撃するプレデターやリーパーだろう。福島第一原発事故の際に貴重な画像を提供してくれたグローバルホーク高高度長時間滞空無人偵察機を思い出す方も多だろう。これらの無人機は性能を向上させながら今後も使い続けられるが、

近未来には新たな無人機が登場してくるだろう。今考えられている無人機の将来像にはいくつかのトレンドがある。
●AI（人工知能）による人間を介さず自律的に空対空、空対地戦闘が可能無人戦闘機や無人攻撃機
●多数の小型無人機をネットワークで連携させるスウォーム（群れ）運用
●超小型化あるいは超大型化
ほかにも空母から発進、有人機に空中給油できるスティングレイなどの艦上無人機も実用化の一手前だが、どれもAIや高速大容量



無人機の目となるセンサーは今後さらに進歩していくことは確かで、性能や機能を向上させつつ小型軽量化も進む。レーザーや赤外線、紫外線、可視光など既存の「視覚」だけでなく、「聴覚」や「嗅覚」まで備えたものになっていくだろう。

ネットワークという先端技術なしには成り立たない。とくに注目されているのがAIで、この技術が進めば、航空兵器だけでなく陸上、水上、水中、そして宇宙空間の兵器も「完全無人化」の時代がやってくる。自我を持ち、ターゲットを自分で判断して攻撃を加える、SFで危惧されているような「ロボット兵器」が誕生するのも遠い未来ではない。

SF作家のアイザック・アシモフは1950年という早い段階からロボット兵器誕生を危惧、「ロボット三原則」を提唱した。

- ①ロボットは人間に危害を加えたり、危険を看過することで人間に危害をおよぼしてはならない。
- ②ロボットは人間に与えられた命令が①に反しない限り服従しなければならない。
- ③ロボットは①②に反する恐れのない限りにおいて、自身を守らなければならない。

この三原則は単に小説の範疇にとどまらず、実際にロボットを開発、製造するロボット工学の現場でも規範とされてきた。しかし、AIの進歩によって三原則が守られなくなる危険性も多くの研究者や作家が警鐘を鳴らしてきた。同じ危険性は無人戦闘機、無人攻撃機にもいえ、どこまで「AI任せ」にできるかが課題となるだろう。

P.24へ続く



現行の無人攻撃機の代表的な機体がMQ-9リーパーだ。機首の膨らみには衛星通信のためのパラポラアンテナが収容されており、機首のセンサーが捉えた画像を地上ステーションに送り、その画像を見ながらオペレータが偵察あるいは攻撃を行なう。通信衛星の発達により、地球の裏側からでもタイムラグは1秒を切っている。



リーパー3機のスウォーム運用例。リーパーは左右主翼下に2カ所ずつ地对空ミサイルや誘導爆弾を搭載できるが、複数のリーパーを飛ばして互いに連携させれば破壊力は格段に増大する。イラストではヘルファイア対戦車ミサイルを4発ずつ搭載しており、データリンク用アンテナが追加装備されている。



写真館で撮影する写真は、個人のポートレートが圧倒的に多かった。制服に身を包み、ポーズをつけた写真を撮影した。自分のハレ姿は、写真に残しておきたい。入隊後に撮影した写真は、制服が板についているのが写真からも伝わってくる。地方の農家では、親兄弟の親戚の絆が強かったので、一族のなかに入隊する者がいれば、一同が集まって記念写真を撮って残した。

第13回 サイゴン物語 Saigon Memories

Album of Memories

思い出のアルバム

確かに存在していたベトナムの人びと。戦争に行くことができると、彼らは写真館に足を運んだ。記念写真を撮るためだ。家族のアルバムのなかに貼られていたそうした写真が、何かをきっかけにして一枚、また一枚と漂流をはじめ。それはアルバムを手離さざるをえない状況に立たされるか、家族の崩壊にともなって起きる。持ち主の手を離れたアルバムや写真は、やがて吹き寄せられるようにして骨董屋の店先や路上の土産物屋に集まるのである。

文/コンバットマガジン編集部 Text/CM Editorial Staff
写真/今井今朝春、WPPコレクション Photo/Kesaharu Imai, WPP Collection

ベトナム戦争は、ベトナムがアメリカと戦っていた戦争をいうのが一般的だ。アメリカが撤退した1973年をもって、戦争は終了すると理解されている。戦争が終われば、平和がやってくる。だが、ベトナムでは、そうならなかった。アメリカ戦が終わるとすぐに、カンボジアとの戦争に突入した。望んでいた戦争ではなく、ポルポト派に攻撃されたので、やむを得ずに戦った戦争だった。ベトナム側の理解ではそうである。カンボジアとの紛争は、中国との戦争につながっていく。戦争状態からベ

トナムの国が抜け出したのは、1989年になってからだ。それ以前のフランスの植民地支配から抜け出す戦いから数えると、およそ100年近く戦争をしてきた国がベトナムなのである。長い年月の戦いのなかで、交戦国はフランス、日本、アメリカ、カンボジア、中国と、相手変わって主変わらずの戦いをつづけてきた。なんという精神力か。粘り腰。犠牲につぐ犠牲で、厭戦気分支配されてもいいはずだが、そうはならなかった。ベトナムには、首都ハノイはもちろんとして、ホーチミン市にも、

ダナンにも、古都フエにも、ホイアン、ミトー、カントー、タイニン、ブンタウにもと、観光地として少し知られた土地には必ず博物館がある。ベトナムの博物館のテーマは戦争だ。軍事博物館、戦争博物館と呼び変えてもいいくらいだ。博物館のどれもが、プロパガンダのためにある。そこには、例外なく、有名な作戦に参加する兵士たちの集合写真がある。博物館の壁にかかっている写真は、成功した作戦だからである。あるいは逆に、悲劇的なほど大きな犠牲をちろんとして、ホーチミン市にも、

性兵士たちの勇姿も戦争博物館向けである。それらの写真のなかの兵士たちに、名前はない。無名の扱いが当然となっている。一方、アメリカ軍ではどうか。軍のオフィシャル写真というジャンルがある。戦争カメラマンと呼ばれる軍人が撮影した写真である。これら写真には作戦名とともに、いつ、どこで、だれが撮影したかの記録がある。さらには、写真のなかに兵士が写ってあれば、兵士の名前、階級、そしてほぼ例外なく、出身地が記されている。あざやかな対照を見せる写真たちなのだ。



アクションにおける「失敗」の効能

コンバットマガジン (以下、CM) : 新作『ジョン・ウィック：パラベラム』は、息つく暇もないアクションシークエンスの連続で、観ているこちらも息切れするくらい楽しませてくれました。「乗馬」に「ナイフ」とバリエーションの豊かさに舌を巻きましたが、監督がアクションを描く際に心がけていることがあればお聞かせください。

チャド・スタエルスキ監督 (以下、監督) : 乗馬もナイフ投げも古くからあるアクションですが、僕がアクションを描く際に常に心がけているのは、そういった既存のものをただなぞらずに、必ず変化をつける、ということなんです。

たとえば、アンティーク・ショップでジョン・ウィックと討手がナイフを投げ合うシーンがありましたよね。そこでは、皆さんも今までに色んな映画で目にしてきた「ナイフ投げ」に、僕たちはリアリティーを加味しました。具体的に言うと、それは、敢えて「失敗」を描くことなんです。というのも、どんなナイフ投げの名人だって、現実では、10に1つは投げ損じがきつとあるはずですよね。乗馬の名人だって然

りて、乗馬シーンでは敢えて「落馬」を描きました。そうすることで、アクションの主体があくまでも「生身の人間」という、リアリティーが出ると共に、観客の記憶に残るユニークなシーンに仕上がります。

ガン・フーは僕のバレエ

CM: 私たちが刊行する月刊誌が、ミリタリーや銃器マニア向けという性格上、とくに「リロード」や「チャンパー・チェック」を組み込んだガン・フーは、読者の間で「リアルでかっこいい」と、熱狂的に迎え入れられました。ただ、演出を誤れば「間」や「隙」にもなりそうなそれらの取り扱いに、始めから躊躇はなかったのですか？

監督: 僕がガン・フーの振り付けをする際に思い描くのは「バレエ」です。僕自身がバレエ好きというもありますが、監督目線で言うと、バレエの舞台を観るようにアクション・シーンを描いた方が、作品の世界により観客を魅き込めると信じるからです。僕がクローズアップではなくロングショットを多用するのも、そうした理由です。

つまり、ガン・フーとバレエの振り付けは僕の中で同じなのです。ただやはり、僕が常にこだわるリアリティー

を、射撃に柔術や合気道をかけ合わせたガン・フーでも追求しようとする、リロードを除外するわけにはいきませんでした。そこで僕はリロードをバレエの技の1つと考えることにしました。そうすることで「僕のバレエ」とも呼べるガン・フーに、一切の躊躇なくリロードを組み込むことができたのです。勿論、タラン・パトラーの元で訓練を

うと、翌月曜日に来てくれたのです。実際に会うと、彼が今も身体を鍛えていることは一目瞭然でした。そこで事情を話し「真田さんの代役やらない？ キアヌの敵役なんだけど、モロッコでスタントしてみない？」って聞くと、彼は「いいじゃん、やるよ」って二つ返事で引き受けてくれたんです。おかげで僕は凄くハッピーな気分です。火曜日を迎

『ジョン・ウィック：パラベラム』公開記念！ チャド・スタエルスキ監督 “電撃”インタビュー！

1作目『ジョン・ウィック』の公開以来、
コンマガ読者を虜にしたガン・フー・スタイルの生みの親、
チャド・スタエルスキ監督に、ガン・フーの振り付けのコツや
ユニークなキャラクター作りの裏側を聞いた！

積んだキアヌ・リーヴスの、類稀な射撃技術に頼った部分も多々あります。それでも「アクションがスローに見える」と言うのなら、そんなことは「勝手にしやがれ」です。僕たちは、やりたいことをやるだけなので（笑）。

憧れのヒロユキ・サナダから 盟友マーク・ダカスコスへ

CM: 今作でもまた新たなキャラクターが多数登場しました。中でも敵役のゼロを好演した、ベテラン・アクション・スターのマーク・ダカスコスさんが、色んな意味で記憶に残りましたが、彼と監督は旧知の仲だったのでしょうか？

監督: 20年来の友人です。まだ2人共大学生だった頃に、お互い武術を習っていたのが縁で知り合いました。当時既に俳優としてのキャリアをスタートさせていたマークは、『ジェヴォーダンの獣』（2001）の撮影に携わっていて、同作で演じたインディアン役のマネ役が良かった、以来僕はずっと彼のファンだったんです。

実は、もともとゼロ役をお願いしていたのは、日本の俳優の中でも僕がとくにお気に入りの真田広之さんでした。実際に契約まで至ったのですが、今でもスタントを自身でこなす真田さんは、今作の撮影前に足を怪我してしまいました。それでも撮影までには回復することを祈っていましたが、症状が重く、まだスタントができないということで、泣く泣く出演を諦めたんです。それがある週末の金曜の夜のことでした。

土曜日は終日「ああ、これからどうすれば……」と悲嘆に暮れました。ところが翌日曜日にフッと、撮影現場近くのオフ・ブロードウェイで、旧知のマークがシェイクスピアの舞台に出演していることを思い出しました。それで、その日の夜、駄目元で彼をコーヒーに誘

えることができました。

ドッグ・フー爆誕を 支えた名女優

CM: ソフィア役/ハル・ベリーさんのアクションも、円熟味を増したリーヴスさんのガン・フーに負けず劣らず素晴らしいものがありました。ただ彼女の場合、2匹の犬との共演もあったので、その訓練はかなりハードだったんじゃないですか？

監督: 通常ハリウッド映画で犬が攻撃するシーンでは、撮影と現実の区別がつかない犬は本気で人にかかっていきます。スタントマンにとって非常に危険なため、攻撃するふりができる犬、つまり「スタント犬」がいればと思いついた僕は、世界中を回って訓練を引き受けてくれるドッグ・トレーナーを探したものの、なかなか見つかりませんでした。そして諦めかけた時、ようやく「やるよ」と引き受けてくれたのが、TVシリーズ『ゲーム・オブ・スローンズ』に登場する狼を調教した実績のある、スコットランド人のアンドリュー・シン普森でした。彼がベルジアンマリノア犬の子犬数匹を、1年かけてグリーンのパッドを攻撃するように訓練してくれたのです。劇中では犬が人を直に攻撃しているように見えますが、撮影現場では犬はグリーンのパッドだけを攻撃しているだけで、スタントマンの安全は保たれ、そのパッドを後にデジタル処理で消しているんです。

犬の訓練の最後の5ヵ月間はハル・ベリーさんにも参加してもらいました。私が多用するロングショットではすべてが写ってしまうので、トレーナーに犬に向かって指示を与えてもらうことができず、彼女自身がソフィアを演じながら指示する必要があったからです。結局彼女は犬との訓練の他、射撃と武術も習得せねばならず、そのトレーニング期間は週5〜6日間、計7ヵ月に渡りました。俳優と

しての地位を築いている彼女が、たった5日間の撮影のためにですよ。これってとてもクレイジーなことですよ。

ジョン・ウィックの キャラクター作り

CM: 「伝説の殺し屋」で「無類の愛犬家」に加え、本作では、幼少期をロシア系の孤児院で過ごしたなど、ジョン・ウィックの出自も徐々に明らかになってきました。そういったキャラクター設定は、シリーズ当初より細かく決めていたのでしょうか？

監督: 僕たちの映画の作り方は他とかなり違います。まず、ロケーション探しは必ずスタント・スタッフと一緒にいきます。それはニューヨークだったりモロッコだったリイギリスだったりするわけですが、現地で色んなものを見て、色んなものを読んで、たとえば、その国にどんな武術があるのか、といったことをリサーチします。そして、僕らのオフィスに戻り、そこにはとても大きな壁があるのですが、その壁にロケ先の風景や仕事を一緒にしたい俳優、さらに犬や馬など使いたいアイテムの写真をベタベタ貼

っていくんです。それをキアヌと僕とで眺めながら、今回はどんなテーマがいいだろう？ 宿命って？ 報いとは？ と話を進めていきます。僕が敬愛する黒澤明監督やアンドレイ・タルコフスキーもそういう方法を取っていたと思います。つまり沢山のアイデアがまずあって、それらをまとめながらストーリーを作っていくということなんです。なのでシノプシスはあまり重要じゃなく、あくまでも「一人の男の話」ということにスポットを当てています。今作ではそんな風にして、ロシアのジブシーって気にな

るよね、バレエが好きだよな……といったアイデアの流れから、僕とキアヌとでジョン・ウィックの出自を有機的に作り上げました。**CM:** なるほど。有機的なキャラクター作りが、ジョン・ウィックという男の魅力を醸成していたんですね。では最後に、次回作についての情報をお聞かせください。**監督:** ですから、そういうやり方を取っている『ジョン・ウィック4』があったとして、それがどういうストーリーなんですか？ と聞かれても、現時点で僕にはまったく分からないのです（笑）。

2019年10月4日(金) 公開



『ジョン・ウィック』

[DVD DATA]
発売元: ボニーキャニオン 発売日: 2016年2月17日 価格: 4,104円

超高速一行解説

ロシアン・マフィアに愛犬を殺された元殺し屋が復讐に立ち上がる。



『ジョン・ウィック:チャプター2』

[DVD DATA]
発売元: ボニーキャニオン 発売日: 2019年8月21日 価格: 1,944円

超高速一行解説

イタリアン・マフィアに家を焼かれた伝説の殺し屋が復讐に立ち上がる。



JOHN WICK PARABELLUM ジョン・ウィック:パラベラム

解説

世界中の殺し屋が集うコンチネンタルホテルで「同所での殺しを禁ず」と

いう掟を破ったジョン・ウィックは1,400万ドルの賞金首(キアヌ・リーヴス)となってしまいが……。

『ジョン・ウィック』シリーズ・ファン待望の最新作は「本」、「馬」、「ナイフ」に、果ては「犬」まで飛びかかる?! 正にガン・フー・アクションの極致。

はみ出し! ぴっちより~な☆

TOHOシネマズ六本木ヒルズで9/10に開催された『ジョン・ウィック:パラベラム』のジャパンプレミア試写会にご招待いただきました! 舞台挨拶には主演のキアヌ・リーブス、チャド・スタエルスキ監督、そしてシークレットゲストとして劇中歌で使われた「にんじやりばんばん」を歌うきゃりーぱみゅぱみゅさんが登場! 六本木ヒルズに現われた豪華ゲストに会場のボルテージは最高潮! そして映画開始直前には爆音と共にテープシャワーが!! 本作はガンアクションはもちろんナイフアクションも圧巻。今回は『マトリクス』や『スピード』などのオマージュも沢山とり入れられているので探してみるのもこの映画の楽しみ方のひとつかもしれません。



ジョン・ウィックや支配人ソフィアが劇中で使用している時計と同じモデルが展示されていました! 左からマネロベリフェラル120万円、マネロオートデイト34万円、マネロオートデイト41万円…。



イベント会場は残念ながら撮影禁止…。唯一ジョン・ウィックさまとツーショット撮影できるスポット。当日は迷彩スーツで決めました!



東京マルイ

©東京マルイ 03-3605-3312
http://www.tokyo-marui.co.jp/
●写真：青木健格 ●テキスト：編集部

MK.46M Mod.0

次世代電動ガン

またもや東京マルイがやってくれた!
同社初となる大型次世代電動ガンが
いよいよリリース間近!!

